



みんなのための移動とは、所得、居住地、性別、能力に関わらず、すべての人に、持続可能な交通手段の利用を可能とするものです。それは、若者も、高齢者も、そしてまだ生まれていない世代も含まれます。

人生のさまざまな段階（子供、若者、大人、高齢者）において、人々はそれぞれのニーズや能力に応じた移動の課題や障壁に直面します。ヨーロッパモビリティウィークでは、交通システムがあらゆる年齢層に適応し、現在および将来の世代のニーズを満たすモビリティを構想することを推奨しています。世代間の協力や、各世代のスキル・資産を活用することで、モビリティはより包括的なものになります。

欧州委員会は、過去1年間の共同創造プロセスを経て「世代間の公平性戦略（Intergenerational Fairness Strategy）」を発表しました。2026年の欧州モビリティウィークでは、あらゆる人のためのモビリティが、いかに世代間の公平性と協力を支えることができるかを考える機会となります。



### 1. 世代間の「出会い」を促進する移動

交通を、「公共の利益」として捉え、日常生活を支えるための、より多様でアクセシブルな選択肢を提供することで、すべての世代が、場所、社会活動、文化、レジャー、健康サービスにアクセスできるようにします。

通勤時間帯だけでなく、日中、夜間、オフピークの時間帯のサービスや提供を確保します。コミュニティ主導のモビリティを支援し、単なるインフラではなく、社会的な交流を可能にする場をすべての人に提供します。子供、若者、大人、高齢者が利用できる、多様で信頼性が高く、手頃な価格のモビリティを推進します。



### 2. 世代間の「交流」を促進する移動

異なる世代が交通資源を共有し、コミュニティによって、またコミュニティのために構築されるモビリティを目指します。

異なる世代が互いのスキルや資産を共有できるようなサービス、トレーニング、機会を提供します。物理的・デジタル両面でのアクセスを支援するため、従来技術と新技術の両方に投資し、異なる世代が自分たちの街をどのように移動しているかを共有できるようにします。多様な能力やニーズを考慮した新しい解決策を開発するため、世代を超えた協力ができる革新的な環境を促進します。



### 3. あらゆる世代が「安全・快適」に移動できる移動

すべての世代に対応し、より健康的なライフスタイルをサポートする、安全で信頼できるサービスを目指します。

「ライフコース・アプローチ」を取り入れ、速い動きやゆっくりした動き、異なる目的や目的地に合わせた公共空間を検討します。公衆トイレ、座席、日陰、広場、遊び場、緑道など、移動を補完するサービスの充実を図ります。移動における物理的・デジタル的な障壁をなくし、それぞれの好みに合わせた明確な情報伝達や道案内を確保します。



### 4. 「公平で永続的な遺産（レガシー）」を支えるモビリティ

現在と将来の世代をつなぎ、力を与え、守れるような、現在を考慮して未来も確保する移動システムを目指します。

将来世代のニーズを考慮した、長期的ビジョンに基づく意思決定を行います。現在と未来の世代の能力や資源に配慮した、責任ある都市計画を策定します。コミュニティの声に耳を傾け、将来を見据えたマインドセット（物事の捉え方）を養いながら、共有可能なスキルや資源を探ります。

